

学習活動の重点化等に資する年間指導計画参考資料

教育芸術社

音楽 [中学校第1学年]

以下の資料は、当社の教師用指導書ならびにホームページに提示している第1学年の年間指導計画作成資料〈A案〉に基づき、今後の学習活動の重点化等に関連して

1. 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動とその時数
2. 感染症対策の観点から指導順序の変更が考えられる教材・学習活動とその時数

について一覧にまとめたものです。

なお当該学年で取り扱う内容や歌唱共通教材については、指導順序を入れ替えてもなお実施が困難となった場合、次年度以降において取り上げたり、類似した題材と組み合わせて取り上げたりするなどの配慮が必要となりますので、ご留意願います。

年間指導計画例はこちらをご参照ください。https://data.kyogei.co.jp/data_room/nenkei/chu_keikaku28_2/h28_nenkei_1a.pdf

注) 表中【歌唱】【器楽】【創作】の教材において「音源」とあるのは、教育芸術社のホームページにある「自宅学習支援コンテンツ」中の「中学生の音楽1」「中学生の器楽」に含まれる音源のことを指します。なお、音声や動画をインターネット経由で視聴できる環境にない家庭の生徒への配慮を併せてお願いいたします。

自宅学習支援コンテンツ



題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更が 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数
新しい仲間とともに、明るい歌声を響かせよう 【歌唱】	3	<p>「We' ll Find The Way」(p. 4)</p> <p>言葉の持つ語感や、歌詞にこめられた思いを感じ取りながら歌詞を音読する。</p> <p>音源を聴きながら、拍にのって歌う。</p> <p>My Voice! (p. 8)</p> <p>「響きづくり EXERCISE」を読んで、声に出しながら「上のほうに向かって声を出す感じ」と「下のほうに向かって出す感じ」の違いを感じ取って比較する。</p>	1	2	実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動 の指導順序を変更する。	2
曲の構成を感じ取って、表現を工夫しよう【歌唱】	5	<p>「主人は冷たい土の中に」(p. 10)</p> <p>音源を聴き、曲の構成を確認する。</p> <p>p. 12 の「ここが分かれば Grade Up!」に従って、各フレーズのリズムや強弱、終わりの音を確認する。</p> <p>p. 11 の「ハ長調の音階と階名」に従って、ハ長調の音階を五線に書き、音階を階名で歌う。</p> <p>RHYTHM GAME (p. 7)</p> <p>図を使ってリズムをつくり、拍に合わせて声に出す。</p> <p>「浜辺の歌」(p. 16)</p> <p>言葉のもつ語感やリズムを感じ取ったり、情景を思い浮かべたりしながら歌詞を音読する。</p> <p>音源を聴き、8分の6拍子の流れを感じ取りながら歌う。</p>	2	3	<p>実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動 の指導順序を変更する。</p> <p>実際に声を出して行う学習活動 の指導順序を変更する。</p> <p>BINGO GAME (p. 6)</p> <p>学年末の復習として取り上げる。</p>	3

題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更が 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数
イメージと音楽とのか わりを感じ取ろう 【鑑賞】【創作】	4	映画「ジョーズ」から“ジョーズのテーマ”(p.29) 公衆送信などによる音源を利用し、教科書に示されたポイントに関連した特徴を感じ取りながら聴く。	1	3	歌唱活動が制限される場合は、 “ジョーズのテーマ”を先に取り 上げてよい。 Let' s Create! (p.30) のグル ープ活動の指導順序を変更する。	3
音楽の特徴から情景を 想像しよう【鑑賞】	3	春 —第1楽章—(p.32) 曲の背景や構成を理解しながら「楽曲について」「ソネットについて」を読む。 公衆送信などによる音源を利用し、教科書の譜例を参考に して、曲想の変化を感じ取りながら聴く。	1	2	歌唱活動が制限される場合は、 この題材を先に取り上げてもよ い。	2
曲想や全体の響きを感じ 取って、表現を工夫し よう【器楽】【歌唱】	5	アルトリコーダー LESSON 1 (器楽 p.3~9) 教科書 p.3~4 を読み、リコーダーの歴史や構造、種類な どについて知る。 公衆送信などの音源を聴いて、アルトリコーダーの音色に 親しむ。 「Edelweiss」(p.13) 音源を聴いて、3拍子の流れを感じ取りながら歌う。 「Michael, Row The Boat Ashore」(p.14) 音源 [原語] を聴き、原語 (英語) の発音やアクセント、 リズムを意識しながら、模倣して歌う。	1.5	3.5	リコーダーを用いる全ての学習 活動の指導順序を変更する。 実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動 の指導順序を変更する。	3.5

題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更が 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数
曲想やパートの役割を 感じ取って、表現を工夫 しよう【歌唱】	3	<p>「パフ」(p.18) へ音譜表の意義と読み方を理解しながら p.18 の「へ音譜表」を読む。</p> <p>声の出るしくみ、変声期、変声期を意識しながら、p.19 の「声の出るしくみと変声期」を読む。</p> <p>「飛び出そう 未来へ」(p.22) 言葉の持つ語感や、歌詞にこめられた思いを感じ取りながら歌詞を音読する。</p> <p>音源を聴きながら、拍にのって歌う。</p>	1	2	実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動 の指導順序を変更する。	2
日本の民謡やアジアの 諸民族の音楽の特徴を 感じ取って、その魅力を 味わおう【鑑賞】【歌唱】 【創作】	6	<p>日本の民謡 (p.44) 民謡にはさまざまなものがあり、さまざまな背景があることを理解しながら、民謡に関する説明文や、それぞれの曲に関する説明文を読む。</p> <p>アジアの諸民族の音楽 (p.50) アジアにさまざまな音楽や楽器があることを理解しながら、それぞれの音楽に関する説明文を読む。</p> <p>「ソーラン節」(p.46) 曲の背景を理解しながら説明文を読む。</p> <p>楽譜を指差しながら音源を聴いて、声の音色や節回しを模倣して歌う。</p> <p>My Melody (p.48) 教科書の手順にしたがって旋律をつくる。</p>	2	4	歌唱活動が制限される場合は、 鑑賞教材を先に取り上げてほしい。 <p>「ソーラン節」で実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる 全ての学習活動の指導順序を変更 する。</p> <p>発表や意見交換は、教室で歌う ことが可能になった段階で取り上 げる。</p>	4

題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更が 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数
日本の歌のよさや美し さを感じ取って、表現を 工夫しよう【歌唱】	3	「赤とんぼ」(p. 24) 言葉のもつ語感を感じ取ったり、情景を思い浮かべたりし ながら歌詞を音読する。 歌詞と強弱との関係に注目して、音源を聴く。 「歌い継ごう 日本の歌」(p. 54～57) 音源を聴き、歌詞と旋律との関わりに注目して、どのよう に表現するかを考える。	1	2	実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動 の指導順序を変更する。	2
箏曲の特徴を感じ取っ て、その魅力を味わおう 【鑑賞】【器楽】	5	「六段の調」(p. 40) 箏曲や作曲者について理解しながら説明文を読む。 公衆送信などによる音源を利用し、説明文やp. 41の「序 破急」を読んで、曲の構成を理解したり、箏の音色の特徴を 感じ取ったりしながら聴く。	1	4	歌唱活動が制限される場合は、 鑑賞教材を先に取り上げてよい。 器楽の「虫づくし」(p. 27)「姫松」 (p. 28)「さくらさくら」(p. 29) My Melody (p. 31) を、同じ箏を複数人 で交替して演奏する場合は、教室 でそのように演奏することが可能 になった段階で取り上げる。	4

題材名	配当 時数	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数	学校の 授業が 必要な時数	指導順序の変更が 考えられる教材・学習活動	左記の 配当時数
仲間とともに、表情豊かに合唱しよう【歌唱】	5	<p>「カリブ 夢の旅」 音源を聴き、曲の構成や強弱記号の意味に注目して感じたことをまとめる。</p> <p>心通う合唱 音源を聴き、それぞれの曲想を感じ取る。</p> <p>指揮をしてみよう！ 「速度やタイミングをそろえるために必要なこと」の内容を読み、既習の曲などを用いて指揮の仕方を工夫する。</p>	2	3	実際に声を出して行う歌唱活動 又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。	3